

発表会 ありがとうございました。2020年度以降、コロナ禍で、人数制限をさせていただく中での開催。歌の発表はなし、我がクラスの劇遊びのみの観覧、という縮小形式の発表会でした。

今年度の内容は、以前のように歌の発表も再開、全学年の観覧ができるような形態に戻しました。



当日、前方の入れ替え席への誘導は、役員さんが滑らかに行ってくださいました。

ステージ内で待機していた子どもたちも待ちすぎることなく、プログラムをスムーズに進めることができました。

大変お世話になりました。

提出していただきましたアンケートの中に、会場内の保護者のみなさまのマナーがとてもよくて、温かな気持ちで、観覧することができたという感想を寄せて下さった方もいました。このような空気の中だったからこそ、子どもに送られた拍手がより温かく感じられたのですね。みなさまの、子どもたちを盛り立ててくださるお気持ちが、子どもたちの達成感と満足感につながったはずです。本当にありがとうございました。



発表会アンケートのご協力ありがとうございました。

いただいたコメントを、抜粋してご紹介します。

## 年少組

舞台袖から大きな声と大きなお口、身振り手振りもしっかり、全身で役になり切っている様子が、とてもかわいかったです。

本人も演じるというよりも、ただ、その場所を楽しんでいるようで、ずっと笑顔で、見ているこちらにも笑顔になりました。

この無邪気さも、年少さんならではのものなので、尊いな〜と幸せな気持ちにさせてもらいました。



年少さんの歌は、緊張している様子でしたが、我が子なりに元気に歌っていて、よかったです。コール&レスポンスも楽しかったです。

劇では、お友だちと一緒に助け合う姿も見られ、チームワークを少しずつ身につけていっているんだなと思いました。

※年少 うた では、ご協力ありがとうございました。プログラム1番 トップバッターで、とても緊張していた子どもたち。保護者のみなさんが、笑顔と一緒に歌ってくださったこと、子どもたちはもちろん、私たちも、うれしかったです。

※ステージから30cm のところにいるお客さん…子どもたちは、手を振ることに夢中になったり、涙が出たり…年少ならではの姿。

あたたかく見守ってくださり、ありがとうございました。



幕が開いた瞬間、初めて見る観客の多さにビックリした様子。ジリジリと後ろを向く姿に大笑いしました。劇遊びでは、あらかじめしっかり手で目かくしをしている姿にまた大笑い。その後もしっかり目をつむっていましたが、その表情は明るかったです。幕が閉じるときに、安心したようにチラッと後ろを見ていた姿も確認しました。とてもはずかしがり屋の我が子。ありのままの姿を見ることができてとてもうれしかったです。あんなにはずかしがっている姿がかわいすぎて、我が子には申し訳ないですが、家族みんなで大爆笑、キャーキャー言っていました。



※他クラス、他学年の劇も、楽しんでいました。憧れの気持ちも♡小道具を真似て作ったり、クラスでごっこ遊びが始まったり…。挿入歌もいつの間にか覚えていました♪



発表会一週間前……「オオカミバスターズ!!!」と言って、部屋の中をグルグル回っています。ふじ組さんの“アレ”なんだろうな～と思いながら、黙って見ていることにします。

発表会3日前……「オオカミバスターズ!!!」の武器を作ってきた🌟 ふじ組さん、人気なんだな～(笑)



カーテンが開いた時の緊張顔、目があつた時の笑顔、ステージに立っている姿が本当にかわいくて……胸がギュッとになりました。いつもは、動画や写真に気をとられ…せっかく同じ場にいるのに、画面越しでした。しっかり目が合って、「ちゃんと見てるよ!!」と伝えることができてよかったです。

かわいさ、成長、可能性！すべてを感じられた発表会でした。



私は、上の子が入園してからも、発表会は、DVDでしか見たことがなく、どんな感じなんだろう？と、当日ワクワクしていましたが、カーテンが開き、生の子どもたちが立っているだけで、「わ～！」と感極まり、涙ポロポロでした。

ぼーっと立っているだけだろうと、予想していましたが、私たちを見つけて、嬉しそうにしている、我が子らしく思いっきり歌っていて。他のお子さんも同様で、なんでこんなにかわいいんだろう…こんなに小さいのに、ちゃんとポーズしながら歌ってる～とまた、感極まり、嬉し泣きでした。

## 年中組

※幕が開く前の子どもたちの表情も、  
なんとも言えないですね♡

発表会の演目決めや、役決めなどを、みんなで話し合っている様子を教えてくれていました。「まだ決まってはいるけど、多分こうなる…」という話し方から、一方的に決められたことをやるのではなく、話し合っって考えを出し合っって決めるプロセスが、しっかりあるのだなと思いました。

「〇〇ちゃんは、△△の役をやりたいくて、自分もやりたい」など、周りの子の気持ちと、自分の気持ちを素直に受け止めているようでした。



かわいかった！上手だった！最高だった！よく覚えて出来たね！などなど素直に感想を述べたのですが、「パパもママも全然見てくれてなかった」と言われました。ほかの子も見てみたい気持ちを抑え、我が子ばかり目で追っていたのに…？！

めちゃめちゃ 目、合っていたのに?!  
恥ずかしさあまりの、あまのじゃくでしょうか？(笑)

歌では、感動して泣きそうになってしまいました。こうやって、(退園した)お友だちを見送ったんだろうな…。一生懸命に前を向いて歌うその顔と姿に、胸が熱くなりました。

退園したお友だちのお別れ会、欠席していたため、「〇〇ちゃんにちゃんとお別れできなかった」「バイバイをちゃんとしたかった」とよく伝えてきます。もうどうすることもできませんが、(歌を聞いていて)友だちを思う気持ちに、ジーンとききました。



発表会、想像以上で、感動しました。子どもたちの歌声、姿は、反則ですね(ノ\_ノ)。深く深く心に届くものがあり、今でも、涙が出ます。演技も、覚えていることをしっかり表現し、恥ずかしい気持ちと、「見て！」という気持ちが伝わり、胸が熱くなりました。

発表会を通して、私がしてあげられていることより、子どもから与えられていることのほうが、大きいんだなと気づかされました。

子どもたちの純粋な心は、何よりの宝物ですね。そして、子どものパワーは、計り知れない原動力ですね！あの2時間ほどの空間で、こんなに胸を打たれるとは、思いもありませんでした。



当日は、年少・年中・年長と、それぞれの良さが出ていて、よかったと思います。一生懸命に練習し、先生方と子どもたちが、心を一つにして、作り上げてきたことが、伝わってきて、とても感動しました。

年長さんは、さすが！！という感じで、来年、年長になる我が子は、どんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみだと思っています。



発表会の帰りの車で、「よく頑張ったね」と抱きしめたところ、照れて…前歯がずっと出ていました。

「ママ、タオル持って泣いてたね、何で？」…(笑)  
歌いながら、そんな余裕あったのかいっ！！と(笑)

祖父母から電話があり、「よく頑張ったんだってね～」と言われると、「ありがとうの花歌います！」と、一曲披露していました。

寝る前にボソッと、「今日は、いい一日だったなあ～」と、本当にそうだなと、母も思いました。



※演技後、「おかあさん、歌の発表の時と、違う場所に座ってた…」など、余裕のある発言がありましたよ(笑)。

歌「ありがとうの花」では、園生活の背景、友だちとのつながりにまで、心を寄せて聞いてくださり、こちらもしんとききました。

## 年長組



見事でした！！年少さんの頃のことを思うと、舞台上立って、あんなに立派に表現できている姿が、本当に本当に成長したなあと、胸がいっぱいになりました。涙…涙…で、感動いたしました。

自信に満ち溢れていたし、観客席を見渡す余裕まであって、なんと大物になったんだ、と嬉しく思いました。

歌は泣かせてもらいましたし、劇は笑わせてもらいましたし、とてもとても楽しい発表会でした。



年少さんから、年中・年長と、わずか1年の差なのに。こんなに成長するんだなと、とても感心させられました。歌も劇も、終始感動し、うるうるでした。

また、席についても、座るスペースに困っていたら、先に座っておられた方が、快く寄ってスペースを作ってください、朝早くからきて場所取りされていたかもしれないのに、なんて素敵なお方なのだろうかと、比治山保護者にもグッときました。



発表会前、「ももたろう、するんでしょ？」とたずねると、「ん～？わかんない…」と……「え？大丈夫かしら？」と、少し心配していました(笑)。どうやら、内緒ということで、すっかり騙されました(笑)

当日は、しっかり役になり切り、立派でした。どの子も、とてもはまり役であり、そして、役に入っているのが伝わってきました。

比治山幼稚園の行事はどれも、子どもたちの「楽しい」気持ちが伝わってくるもので、見ていて、とても幸せな気持ちになります。子どもたちの心が動く時、ものすごいパワーが動き、最高のものが出来上がるんだなぁと感じました。

発表会でどんなことをするのかなど、当日まではあまり話してくれませんでした。他の子の話はよくしてくれていました。

「お姉さんのセリフ、めっちゃ迫力あってすごく上手なんよ！」

「ナレーターの人なんかね、紙なしで読むんよ！ すっごい長いセリフなのに！！」

とか、相手のよいところを認めれる、気付けるというところが、本当に成長したんだなと。

当日は、感動しました！ 歌も素晴らしく、劇も最高！！



役になり切って、演技する姿に驚きっぱなしでした。演じることを心から楽しみ、堂々としている姿を見ることができてとてもうれしかったです。

セリフや動きの息もぴったりで、振り付けなども、子どもたちで考えたと聞いて、みんなのアイデアのすごさにビックリしました。我が子だけでなく、みんな年長さんになって、すごくしっかりして、お兄さんお姉さんの顔つきで劇を楽しみ、しっかり自分たちのものになっているのが素晴らしかったです。

全クラスを通しての発表会は、親も初めてだったのですが、たくさんの人の前で、歌ったり演じたりする姿は、どの子どもも愛おしく、胸がいっぱいになりました。

楽しんでいる子、不安そうな子、横向いている子、後ろ姿の子、泣いている子、自信に満ちた子…どの子どもも立派で、ありのままの姿を見せてくれてありがとう！という気持ちです。

合唱では、各学年の姿の違いに、幼児期の成長を感じ、年長児の時には、いろいろな思いで、涙が止まりませんでした。

※年長組最後の発表会。大きな行事のたびに感じますが、年長組の保護者の方々は、わが子の様子だけでなく、他の子やクラス全体のこと、他学年の子たちまで、いつもとても温かいまなざしを注いでくださり、ありがとうございます。そんなあたたかさの中だからこそ、子どもたちは、ありのままの姿を発揮することができたのですね。